

街道を歩く



興禪寺



磨墨塚

磨墨は源頼朝が梶原景時に与えた名馬、梶原景時孫の豊丸(景親)が乳母の生地、この地に逃れ住み、名馬の墓を造る。

臨濟宗妙心派妙國山興禪寺

承安4年梶原平三景時の開基により
 真言宗光善寺として開山、梶原氏の没落とともに荒廃。
 その後、梶原景親の末孫孫義によって再興される。
 境内に梶原景時夫妻と伝えられる五輪塔がある。

羽黒城跡

建仁元年(1201)梶原景時の孫豊丸(後景親)が乳母
お隅、家臣と共にお隅の生地、羽黒に逃れ来てこの地
館を構える。孫景義は本能寺の変で殉死。梶原家絶える。
小牧長久手の戦いとき秀吉の砦となり、堀尾茂助、
山内一豊が守る。その後秀吉。城屋敷古墳。



永泉禪寺



築造5世紀前半全長119.5m前方後円墳
断夫山古墳に次いで県下2番目の大きさ

木曾街道4
田県～前原

